

所属学部:	学籍番号:	氏名:
取得を希望する免許状(校種・教科):		

[illegible]

A 合計單位數：

◆教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、
教育相談等に関する科目、教育実践に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目名	単位	修得年度	成績評価
科目	各科目に含める必要事項				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解				
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)				
道徳、指導、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒	道徳の理論及び指導法				
	総合的な学習(探究)の時間の指導法				
	特別活動の指導法				
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
教育実践に関する科目	教育実習				
	学校体験活動				
	教職実践演習				

B 合計単位数：

◆大学が独自に設定する科目

授業科目名	単位	修得年度	成績評価

C 合計単位数：

◆総合計修得単位数（A+B+C）：

総単位数が59単位以上か確認すること。

◆文部科学省令で定める科目（教育職員免許法施行規則第66条の6）

文部科学省令の科目	授業科目名	単位	修得年度	成績評価
日本国憲法				
体育				
外国語コミュニケーション				
情報機器の操作				

1. 本履修カルテは、4年次後期に開講される「教職実践演習（中・高）」等の教職指導において使用されます。
 2. 4年次前期（所属する学部）の指定する日までに学部の教務担当係に提出してください。
 3. 返却する時期等は、掲示にてお知らせします。
返却後は、「教職実践演習（中・高）」の授業の時に持参してください。
 4. 本履修カルテは自己責任のもと、履修登録と相違のないように正確に記入してください。
 5. 未履修科目は、予定で科目名及び修得年度を記入してください。
- ※複数免許を取得する場合の各教科指導法等の記入方法については、学部教務担当係に確認ください。

神戸大学 教育職員免許状取得のための履修カルテ②＜自己評価シート＞

中学・高校用

所属学部： _____ 学籍番号： _____ 氏名： _____

取得を希望する免許状（校種・教科）： _____

(1) 必要な資質能力についての自己評価

必要な資質能力の指標				講義等で 学習した	教育実習 で実践した	課外等で 経験した	自己評価 (評価の最も高いものが5点となります。)	どのような経験をし(又はどのようなことを学び)、その経験等を通してできるようになったことを簡単に記入してください。
項目	項目	教員の資質能力として 最小限必要な事項 (H18中教審答申より)	指標					
学校教育についての理解	教職の意義	使命感や責任感, 教育的愛情	教職の意義や教員の役割, 職務内容, 生徒(子ども)に対する責務を理解していますか。				1・2・3・4・5	
	教育の理念・教育史・思想の理解		教育の理念, 教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。				1・2・3・4・5	
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解		学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。				1・2・3・4・5	
子どもについての理解	心理・発達論的な子ども理解	生徒理解や学級経営	生徒(子ども)理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。				1・2・3・4・5	
	学習集団の形成		学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。				1・2・3・4・5	
	子どもの状況に応じた対応		いじめ, 不登校, 特別支援教育などについて, 個々の子ども(生徒)の特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。				1・2・3・4・5	
他者との協力	他者意見の受容	社会性や対人関係能力	他者の意見やアドバイスに耳を傾け, 理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。				1・2・3・4・5	
	保護者・地域との連携協力		保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。				1・2・3・4・5	
	共同授業実施		他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。				1・2・3・4・5	
	他者との連携・協力		集団において, 他者と協力して課題に取り組むことができますか。				1・2・3・4・5	
	役割遂行		集団において, 率先して自らの役割を見つれたり, 与えられた役割をきちんとこなすことができますか。				1・2・3・4・5	

必要な資質能力の指標				講義等で 学習した	教育実習 で実践し た	課外等で 経験した	自己評価 (評価の最も高いものが5点となります。)	どのような経験をし(又はどのようなことを学び)、その経験等を通してできるようになったことを簡単に記入してください。
項目	項目	教員の資質能力として 最小限必要な事項 (H18中教審答申より)	指標					
コミュニケーション	発達段階に対応したコミュニケーション	社会性や対人関係能力	生徒(子ども)たちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。				1・2・3・4・5	
	子どもに対する態度	生徒理解や学級経営	気軽に生徒(子ども)と顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。				1・2・3・4・5	
	公平・受容的態度		生徒(子ども)の声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。				1・2・3・4・5	
	社会人としての基本	社会性や対人関係能力	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。				1・2・3・4・5	
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	科(※)	教科の指導力	これまで履修した教科教育分野の科目の内容について理解していますか。				1・2・3・4・5	
	教科書・学習指導要領		取得する教科に関する教科書や学習指導要領の内容を理解していますか。				1・2・3・4・5	
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識		教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。				1・2・3・4・5	
	道徳教育(中免のみ)		道徳教育の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。				1・2・3・4・5	
	特別活動		特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。				1・2・3・4・5	
	総合的な学習(探究)の時間		「総合的な学習(探究)の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。				1・2・3・4・5	
	情報機器の活用		情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。				1・2・3・4・5	
	学習指導法		学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。				1・2・3・4・5	
教育実践	教材分析能力		教材を分析することができますか。				1・2・3・4・5	
	授業構想力		教材研究を生かした授業を構想し、生徒(子ども)の反応を想定した指導案としてまとめることができますか。				1・2・3・4・5	

必要な資質能力の指標				講義等で 学習した (あてはまるものにチェックを 入れてください。)	教育実習 で実践し た	課外等で 経験した	自己評価 (評価の最も高いものが5点となります。)	どのような経験をし(又はどのようなことを学び)、その経験等を通してできるようになったことを簡単に記入してください。
項目	項目	教員の資質能力として 最小限必要な事項 (H18中教審答申より)	指標					
教育実践	教材開発力	教科の指導力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。				1・2・3・4・5	
	授業展開力		生徒(子ども)の反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。				1・2・3・4・5	
	表現技術		板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。				1・2・3・4・5	
	学級経営力	生徒理解や学級経営	学級経営案を作成することができますか。				1・2・3・4・5	
課題探求	課題認識と探求心		自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。				1・2・3・4・5	
	教育時事問題		いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。				1・2・3・4・5	

(2)教職を目指す上で課題と考えている事項

--

(3)教育実習・介護等体験・その他教職に関するボランティア経験等の実施状況

教育実習	済・未・実習中
介護等体験	済・未・該当無
その他教職に関するボランティア (スクールサポーターなど)	済・無・体験中 体験したボランティアの名前 ()

(4)担当教員からのコメント

担当教員	
------	--

--

1. 本履修カルテは、4年次後期に開講される「教職実践演習(中・高)」等の教職指導において使用されます。
 2. 4年次前期(所属する学部)の指定する日までに学部の教務担当係に提出してください。担当教員のコメントを記入の上、返却します。
返却する時期等については、掲示にてお知らせします。
 3. 返却後は、「教職実践演習(中・高)」の授業の時に必ず持参してください。
- (※)については、取得を希望する免許状(教科)を記入し必要に応じて適宜行を増やして記入してください。